

テーザーズプリング レガッタ

高山 勝

2007年4月28日～29日 神奈川県・葉山沖にて テーザー級の「スプリングレガッタ」が行われた。34艇のエントリーも、実質の「関東選手権」の様子。今年7月、「テーザーワールド」がタイ・ブーケットで行われるに従い、それに参加出場チームの「前哨戦レース」、「練習レース」の様相であった。

初日は微風・強風のため2レース(DNF艇多数)。2日目は、風にも恵まれ、なんと「1日」で6レースの計8レース。結果的に初日の「連続DNF」艇の救済ともなった。

コンディションは土曜日、日曜日とも春の寒気あいみまれる不安定な気圧配置で第1レース以外は、一般的に、結構、6～10m/sほど吹いた。南西っぽい風のせいもあり、波、弱いうねりもありのコンディション。

テーザーは平均25ノット以上の風が吹くとノーレースとのこと。

そこまではいかないが皆、苦戦の様子、半艇ほどは男女混成チームなので起こすのも大変そう。第1レースは微風のため「タイムリミット」に多数の艇がひっかかり、後半は打って変わって強風のため「サバイバルレース」の様相を呈するほど。

皆さん、昨年よりのマイラーセールも板についてきてダクロンセールも相見まれよく走る。

しかし、やっぱりテーザーはマストがやわらかいせいか、特にマイラーセールのリーチは、開きぎみで、どうもパワーダウンする気配。

しゃあないかと我ら「高山、秋山チーム」のような男性チームはヘビー級のため、シリーズ通した強風も、なんのその。もっと吹けふけ状態。

結果は惜しくも我ら「BYC 琵琶湖」うたったチームで必勝を期しましたが、2位準優勝でした。

やっぱり、優勝は昨年全日本優勝チーム「小松、小川チーム」は男性チームの「重量級」であっても、「微風」の第1レースもをぶっちぎりのトップ・フィニッシュを決めるなど、コンスタントな走り、やはりはやい。テーザーを熟知しているというふう。全く他艇を寄せ付けん。自信に満ちておりました。

特筆すべきは、強風シリーズであったにもかかわらず、男女ペア・軽量チームの「平生チーム」が3位入賞を果たしたこと。「アフター5」の「反省会」で彼らは今回「強風での走り」に開眼したとのこと。やはり、強風では「角度」よりも「スピード重視」が正解か。

反省会に出席してみて「やっぱりテーザーはレースも大事やけど、アフター5も、とって大事」を実感した遠征でした。

次回も関西勢は頑張ります。今年は7月に芦屋で「西日本選手権」、8月に琵琶湖で行なわれるオープンレース「セール大津」が「びわこミッドサマー・レガッタ」と銘打ってテーザークラスの公式レースに。そして、9月には、なんと 琵琶湖・柳が崎で、関西初の？「オータム・レガッタ」です。

これで、年間「6レース」の公式レースのうち「半数」の3レースが関西でも開催される予定です。このことは、09年の「和歌山ワールド」向けて、関西勢にとっては、理事会の配慮に感謝でございます。「今年は、関西が熱い!？」

最後に。初日、「微風・強風」という気まぐれな風に翻弄されながら、DNF が多数出たにもかかわらず、手際よく全8レースを完遂されました「スプリング・レガッタ」運営の皆様へ感謝!!

(高山、秋山 琵琶湖ドリームチーム)